

建築製図（建築類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 2年
使用教科書	建築設計製図（実教出版）			副教材等	担当教員が配布するプリント

「建築設計製図」はどんな科目？

製図用具の正しい扱い方、日本工業規格（JIS）に基づく製図法の基本、造形の基本、図面の種類を学ぶ。さらに、身近な木造住宅の建築設計製図の基本を学び、各種構造・用途の建築物および設備の設計製図法に至るまでを学習する。

「建築設計製図」の学習の特徴は？

製図の基本は、正確でわかりやすい図面を作成することであり、図面を迅速にかくことである。誤読のおそれのない図面を作成するための技術を身に付ける。

「建築設計製図」で大切なこと（留意点）は？

図面を迅速に作成するためには、合理的にかくことができるような工夫を重ね、つねに決められた時間内に図面を完成することを心がける。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容（単元名）	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	木造平屋建て専用住宅設計図 ・平面図詳細図 ・立面、断面図 ・断面詳細図	<ul style="list-style-type: none"> ・建築製図通則にしたがい正しく図面を作図する。 ・図面の理解、線種の区別、正確な寸法を理解する。 ・立面図・断面図の作図順序を学び基本的な図法の知識を身に付ける。
	5		
	6		
	7		
2 学 期	8	木造2階建専用住宅設計図 ・配置図、1階平面図 ・2階平面図、1階屋根伏図 ・1階平面詳細図 ・2階平面詳細図	<ul style="list-style-type: none"> ・カナバカリ図の作図順序を学び基本的な図法の知識を身に付ける。 ・2階建の平面図の作図順序を学び基本的な図法の知識を身に付ける。
	9		
	10		
	11		
3 学 期	12	・立面図、断面図	<ul style="list-style-type: none"> ・2階建の平面詳細図の作図順序を学び基本的な図法の知識を身に付ける。 ・2階建の立面・断面図の作図順序を学び基本的な図法の知識を身に付ける。
	1		
	2		
	3		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築製図に関心を持ち、その知識と技術の習得に意欲的に取り組む姿勢、態度を身に付ける。	• 授業準備 • 提出期限 • 出席状況
思考・判断・表現	建築製図のもつ役割を理解し、自らの思考を深め、実際の事例に対して適切な判断能力を身に付ける。	• 作品の完成度
技能	建築物の設計にかかわる、実際的な業務に必要な建築製図に関する技能を身に付けて、建築の設計などに的確に作図できる。	• 作品の表現 • 線の表現
知識・理解	建築の関連製図を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身に付けるとともに、建築製図のもつ意義や効果を理解する。	• 作品の正確さ • 線の使い分け

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- 各課題の提出状況及び完成度（線の太さ、濃さ、文字の形、大きさ等）。
- 授業へ取り組む姿勢（集中して図面を書くことができたか）

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

普段の授業を真剣に取り組み、課題を必ず提出期限までに完成させよう。図面は正確に、美しく、汚さないような工夫をしよう。・・・・・・「正しく、美しく、迅速に！」